

梶山ひろし

プロフィール

●昭和30年10月18日、茨城県常陸太田市生まれ●県立太田第一高～日大法学部卒●サラリーマン生活を経て、昭和63年会社を設立し、中小企業の経営にあたる●平成12年衆議院議員初当選、現在5期●母・春江、妻・由可子、3女の6人家族



レポート View vol.45

平成26年
春号

愛郷無限
新時代
Kajiyama Hiroshi

●発行／茨城県常陸太田市山下町1189 自由民主党茨城県第四選挙区支部

景気回復を最優先に！ 梶山ひろし、全力で活動。



わが国の国土交通行政に梶山委員長の果たす役割は大きい。

日頃、梶山ひろしの政治活動にご指導、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

■景気回復、デフレ脱却を目指す 大型予算が早期に成立。

1月24日に会期150日間の通常国会（第186国会）が召集されました。1月31日から衆参で予算委員会の審議が開始され、早くも2月6日には平成25年度補正予算が成立しました。さらに3月20日、一般会計総額95兆8823円という過去最大規模となる平成26年度予算案が与党などの賛成多数により可決・成立しました。これにより景気回復とデフレ脱却を確かなものにするために盛り込まれた施策が本格執行されます。

予算の年度内成立は3年ぶり、平成11年と12年に続き、戦後3番目の早さとなります。これによって政府・与党は25年度補正予算と合わせて「15か月予算」と位置づけ、景気の回復軌道を確認するうえで大きな弾みになると確信しております。

この予算の成立を受けて、梶山ひろしは、老朽インフラの更新・整備、安全・安心、防災・減災といった国民の生命や財産に直結する国土交通分野の施策が、着実に、そして早期に実施されるよう、目を光らせて参ります。

■効率的で着実な舵取りに 国土交通委員長として高い評価！

梶山ひろしは、衆議院国土交通委員会委員長として、45名からなる委員会の舵取りに、今、手腕を発揮しております。

国土交通委員会に付された今期1本目の法案（奄美大島群島振興開発特別措置法及び小笠原諸島振興開発特別措置法の一部を改正する法律案）に対しても効率的で着実な委員会運営で審議、採決を進め、3月18日に梶山ひろし自らが衆議院本会議で委員長として、法案の審査の報告を行ないました。それを受けて本会議で採決が行なわれ、梶山ひろしの報告にそった形で、全会派一致で法案は成立。その安定した仕事ぶりに周囲からも厚い信頼が寄せられ、早くも大物委員長としての評価が高まっています。

（裏面に続く）



国土交通委員会で采配を振るう梶山ひろし委員長（左中央）

